

Q. 家族の意向と Th. の視点による目標の決定: Q. / Th.

Th. の専門的分析と課題の焦点化: Th.

エビデンスと環境に配慮したプランの提案: Th.

Q. の意向を含むプランの立案と実施: Q. / Th.

1. Q. はどんな生活を送りたいか？
【長期目標】
(できるだけ、具体的な目標を記す)

3. 優先度の高い活動を妨げている作業工程と行為、その要因 (ICF で整理)
活動のどこが出来ないかを示す
・出来ない要因 (原因となる心身機能・構造、環境) を示す

4. 解決方法 (プラン) の選択肢と根拠
(機能改善・能力獲得・環境調整)

5. プランの頻度と期間

2. Q. が出来るようになりたいこと・困っていること (Th. の視点で、出来るようになったら良いと考えること) と、その優先度
(できるだけ、具体的な目標を記す)

優先 1: 1

優先 1:

1.

#1 (優先度:)

優先 2:

優先 2:

2.

#2 (優先度:)

優先 3:

優先 3:

3.

#3 (優先度:)

4.

#4 (優先度:)

5.

#5 (優先度:)

[短期目標]
(できるだけ、具体的な活動を記す)

[課題の要約]

[留意事項]

目標達成の確認 → 達成
↓
再設定 (うまくいかない原因の検討)

Q. 家族の意向と Th. の視点による目標の決定: Q. / Th.

1. Q. はどんな生活を送りたいか？

【長期目標】

(できるだけ、具体的な目標を記す)

- ・家事も含めて、身のまわりのことを安全に自分で行う
- ・公共交通機関を使用して、ひとりで外出できる生活

2. Q. が出来るようになりたいこと・困っていること (Th. の視点で、出来るようになったら良いと考えること) と、その優先度 (できるだけ、具体的な目標を記す)

#1 (優先度: 1)

- ・1人で食事を温めて食べる

#2 (優先度: 3)

- ・市バスで、友人宅に行く

#3 (優先度: 2)

- ・自分で洗濯をすることができる

#4 (優先度:)

#5 (優先度:)

【短期目標】

(できるだけ、具体的な活動を記す)

自分で洗濯をすることができる (屋外に干す・取り入れることができる)

Th. の専門的分析と課題の焦点化: Th.

3. 優先度の高い活動を妨げている作業工程と行為、その要因 (ICF で整理)

活動のどこが出来ないかを示す

- ・出来ない要因 (原因となる心身機能・構造・環境) を示す

優先 1: 1人で食事を温めて食べる

食器を持って移動できない)

- ・バランス低下のため歩行不安定 (心身)
- ・台所から机の動線が確保できない (環境)
- 電子レンジの操作が出来ない)
- ・手順を覚えることが出来ない (心身)
- ・電子レンジ開閉時に不安定 (活動・環境)

優先 2: 自分で洗濯をする

(屋外に干す・取り入れることができる)

- ・
- ・

優先 3: 市バスで、友人宅に行く

- ・
- ・

【課題の要約】

エビデンスと環境に配慮したプランの提案: Th.

4. 解決方法 (プラン) の選択肢と根拠 (機能改善・能力獲得・環境調整)

優先 1: 1人で食事を温めて食べる

食器を持って移動できない)

- ・動的バランスと歩行能力の向上
- ・台所から机の動線の確保
- ・温めなくて良い食べ物提供
- 電子レンジの操作が出来ない)
- ・温め手順の簡素化
- ・操作手順の視覚提示
- ・電子レンジの場所と立つ位置の検討
- ・立位バランスの向上
- ・認知機能の向上

優先 2: 自分で洗濯をする

(屋外に干す・取り入れることができる)

- ・
- ・
- ・

優先 3: 市バスで、友人宅に行く

- ・
- ・

Q. の意向を含むプランの立案と実施: Q. / Th.

5. プランの頻度と期間

1. 簡素化し食事の温め手順を、操作手順の視覚提示

(1-2回の助言と1カ月のフォローアップ)

2. つたい歩きの支持場所と台所から机の動線を確保した動作指導

(複数案をご本人と家族、ケアマネージャーと協議のうえ決定し、1-2回の助言とフォローアップ)

3. 歩行と動的バランス訓練

(1回/週の訓練、自己訓練と安全な動作の指導による転倒予防、3カ月)

4.

5.

【留意事項】

目標達成の確認 → 達成

↓
再設定 (うまくいかない原因の検討)